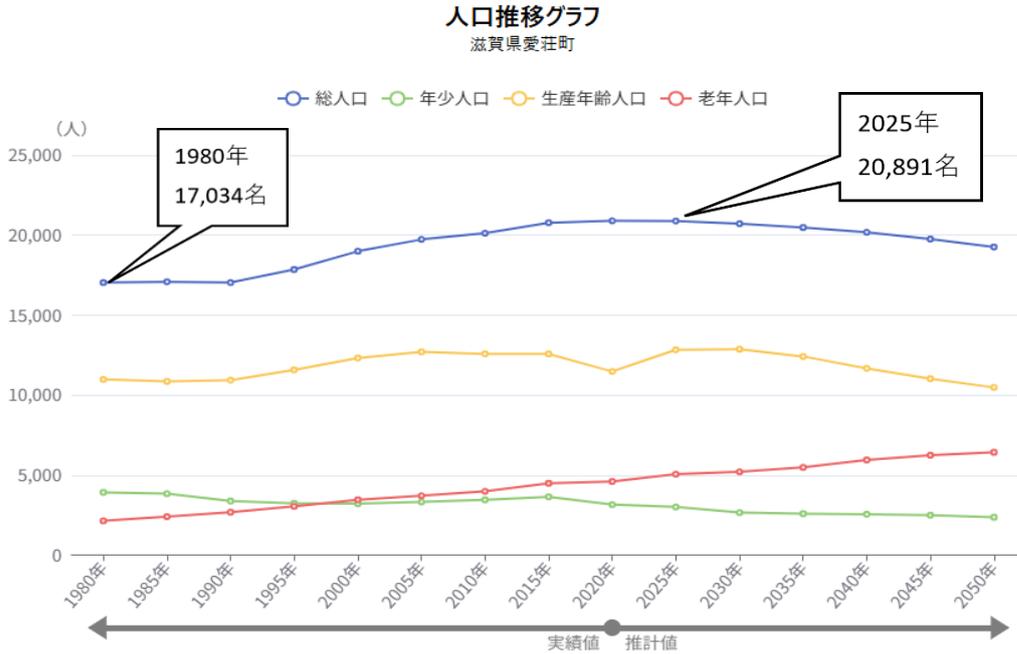


# 令和7年度愛荘町地域動向調査（人口調査）

## ①年齢別人口推移グラフ（愛荘町）

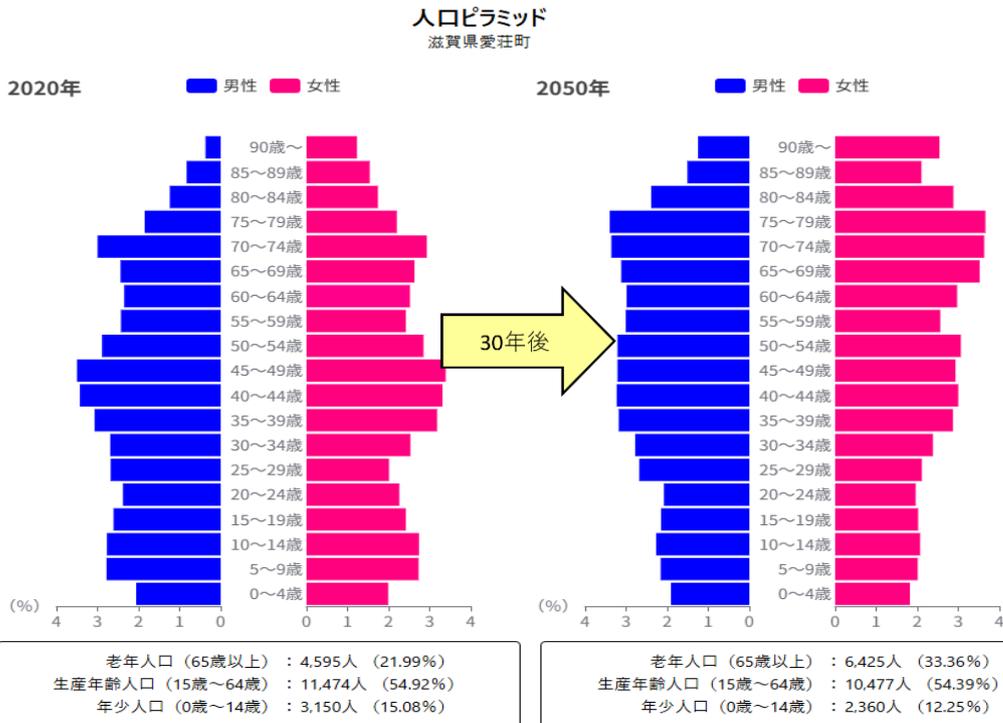


【出典】

総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※総人口：全体の人口      年少人口：15歳未満  
 年齢生産人口：15歳以上～65歳未満      老年人口：65歳以上

## ②人口ピラミッド（愛荘町）



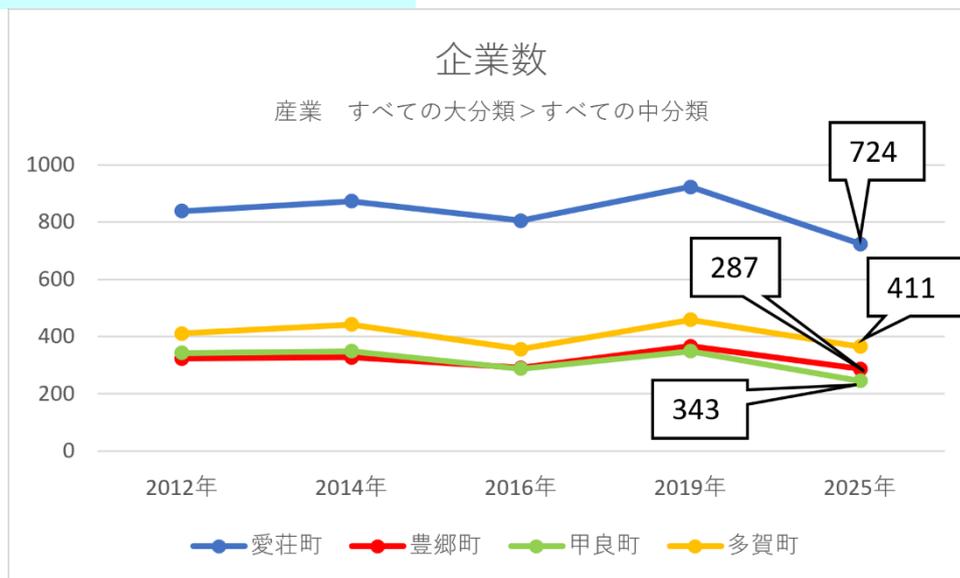
【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※2025年の滋賀県愛荘町の人口は20,891名で、統計当初である1980年の17,034名から比べると、約22,65%の人口増加、県内でも比較的安定した人口推移を示している。一方で、今後は高齢化の進行が見込まれることから、生産年齢人口の確保と地域内消費の維持が重要な課題となる。

# 令和7年度愛荘町地域動向調査（企業活動マップ）

## ①事業所数の推移（2012年～2025年）

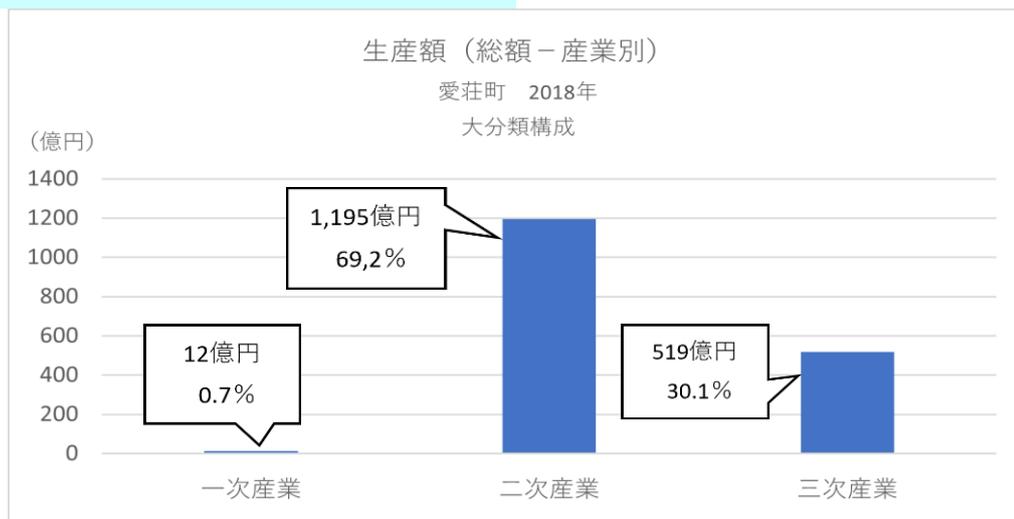


出典：総務省「経済センサス・基礎調査」

※愛荘町の企業数は、2012年以降おおむね800社台で推移し、2019年には約920社まで増加しました。しかし、2025年には724社まで減少しており、直近で大幅な落ち込みが見られます。2019年から2025年にかけて約200社減少しており、減少幅は周辺町と比較しても大きい状況です。背景には、経営者の高齢化や後継者不足、コロナ禍を契機とした廃業・事業縮小などの影響が考えられる。

# 令和7年度愛荘町地域動向調査（地域経済循環）

## ①生産分析 生産額（2018年度 愛荘町）



一次産業：農業・林業・漁業など  
二次産業：製造業（繊維・機械）・製造業など  
三次産業：商業、医療、教育、サービス業など

出典：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」

※前頁の本図は、2018年における愛荘町の産業別生産額構成を示しており、第二次産業が地域経済を牽引している構造が明確に読み取れる。第二次産業は1,195億円で全体の69.2%を占めており、製造業を中心とした工業系産業が町内経済の中核となっている。一方、第三次産業は519億円（30.1%）で一定の規模を有するものの、第二次産業との差は大きい。第一次産業は12億円（0.7%）と構成比は小さく、経済規模への直接的な影響は限定的である。

## ②産業構造（2021年度 愛荘町）

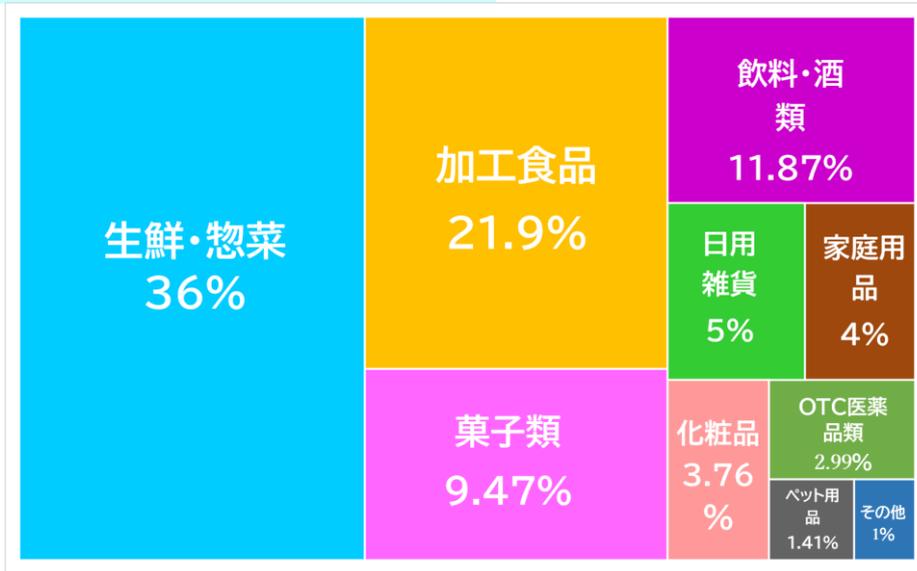


出典：総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

※本図は、愛荘町における産業別事業所数の構成を示しており、卸売業・小売業が117社と最も多く、次いで製造業104社、サービス業86社、建設業84社となっている。第二次産業（製造業・建設業）と第三次産業（商業・サービス業）がバランスよく存在し、一定の産業多様性が確保されている。一方で、農業・林業は21社と割合は小さく、第一次産業の経済規模は限定的である。また、宿泊・飲食サービス業（34社）、生活関連サービス業・娯楽業（35社）、医療・福祉（34社）など、生活密着型産業も一定数存在しており、地域住民の需要に支えられた内需型経済の特徴がみられる。

## 令和7年度愛荘町地域動向調査（消費マップ）

### ①消費の傾向（2024年度 滋賀県）

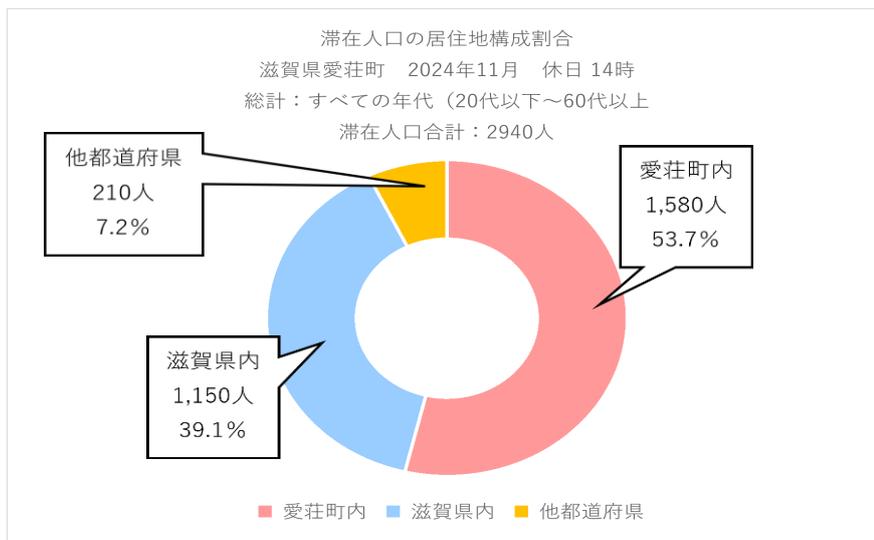


出典：True Data by 株式会社 True Data を基に、一年間の平均値を出したものを可視化

※本マップから、愛荘町における消費構造の特徴として、生活必需品中心型の消費傾向が明確に読み取れる。最も構成比が高いのは「生鮮・惣菜」（36%）であり、日常の食料品需要が地域消費の中心を占めている。次いで「加工食品」（21.9%）、「飲料・酒類」（11.87%）と続き、食関連分野だけで全体の約7割を占めていることから、食料品依存度の高い地域消費構造であるといえる。一方で、「日用雑貨」「家庭用品」「化粧品」「OTC医薬品」などの非食品分野は構成比が小さく、専門性の高い商品や選択性の強い商材については町外に購買が流出している可能性がある。

## 令和7年度愛荘町地域動向調査（観光マップ）

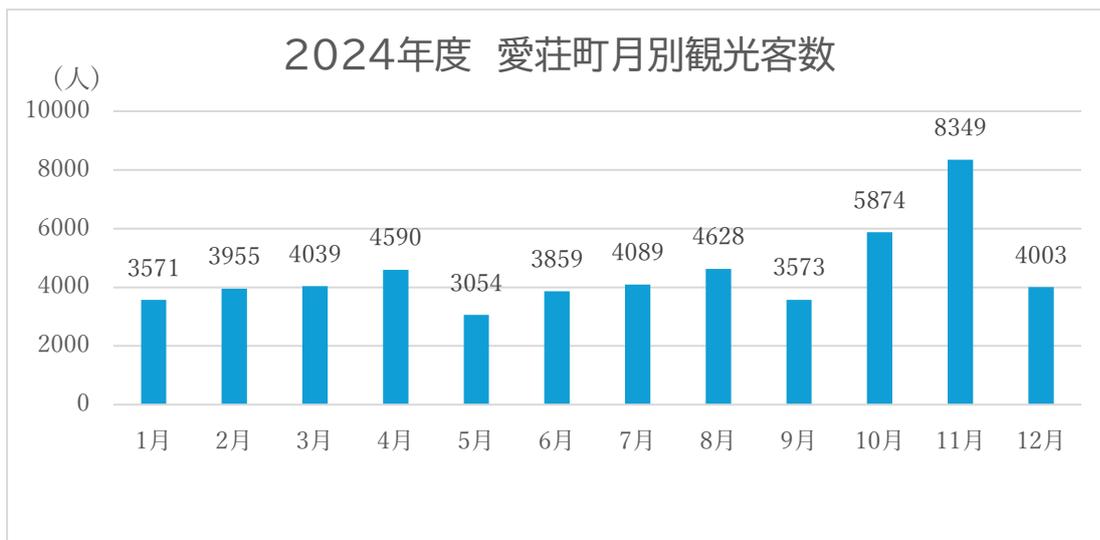
### ①滞在人口（2024年度 愛荘町）



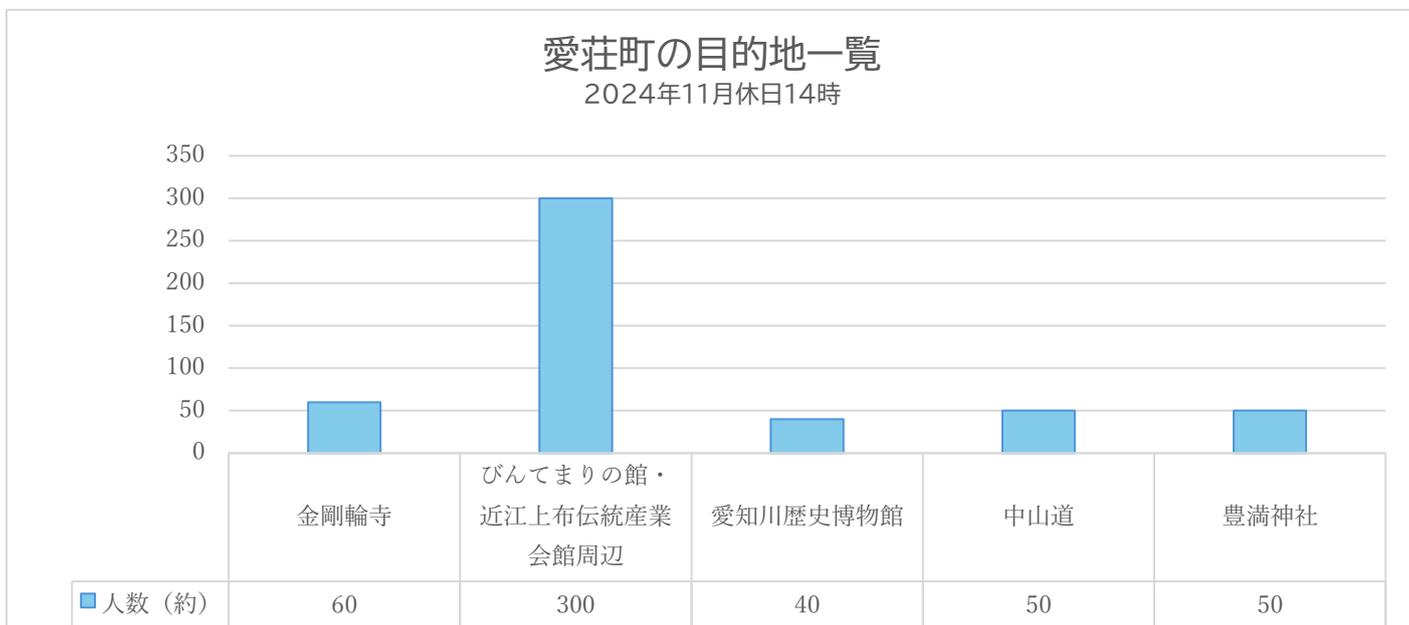
出典：LocationMind x Pop® LocationMind Inc

※当町の11月の休日14時時点の滞在人口は2,940人となっており、観光や交流による一定の人流が確認できる。一方で、滞在時間や消費単価の向上が課題であり、体験型コンテンツや周遊施策の強化が有効と考えられる。

## ①目的地別観光マップ（2024年度 愛荘町）



出典：公益社団法人 日本観光振興協会「デジタル観光統計オープンデータ」



出典：LocationMind x Pop© LocationMind Inc.

※本図は、2024年11月休日14時時点における愛荘町内の主な目的地別滞在人口を示している。「びんてまりの館・近江上布伝統産業会館周辺」が約300人と突出しており、他の地点（概ね40～60人規模）と比較しても集客力が高いことが分かる。一方、金剛輪寺（約60人）、中山道（約50人）、豊満神社（約50人）、愛知川歴史博物館（約40人）は、一定の来訪はあるものの、滞在規模は限定的である。